

○ 7月10日（日） 雨 赤岳

午前 3 時に目が覚めそのまま起床した。もう外は明るく、どうやら晴れている。ざっと朝の支度をしてから、3時45分に出発した。目指すは75km先の銀泉台だ。国道273号線を少々飛ばし、大雪湖の銀泉台入り口から未舗装の長い砂利道を延々と走り銀泉台に5時に到着した。日曜日なので車がいっぱいかと思ったが、数台しか止まっていない。天気予報は雨だし、予報通り霧雨が降っていてどんよりと暗い。みんな天気が悪いので来なかったのだろう。朝食をとり天気の様子を見ながら車内で横になって少し休んだ。まだ朝早いのでこれからどんどん車が入ってくるかと思ったが、乗用車2台、ツアーの団体バス1台と路線バスが1台来たただけだった。それでも逆に少しは登山客が居たので安心した。



雨は傘がいらないくらいの霧雨で、これなら何とか登れそうだと7時過ぎに出発した。

赤岳は今回で3回目だから道はだいたい記憶している。まず車が通れる広い道を行き止まりの「赤岳登山口」までしばらく歩く。ここから急坂の登山道となるが、いきなりまだ蕾で何ランか判らないがランの葉がお出迎えだった。



さらに登ってゆくとゴゼンタチバナやマイズルソウなどおなじみの花がいっぱい咲いていて、その上道端ではリンネソウまで出迎えてくれた。

このあたりでは雨も上がり青空も見えたのだが、登るにつれてだんだん雨が降りだし第一お花畑近くでとうとう本降りになった。

ゴアテックス上下の完全防備に身を包み先へ進んだ。



雨の中の花探しもそれなりに楽しい。第一花畑ではチングルマ、第二花畑ではエゾコザクラやアオノツガザクラ、キバナシャクナゲなどが咲いていて、雨の中写真を撮りながらゆっくりと登る。あとから登ってくる数組の登山者が私の横を通過して早足で登って行った。

雨はとうとう本降りとなったが、何とか駒草平にたどり着いた。名前の通り一面にコマクサが咲き、登山道へまで溢れて咲いている。圧巻だ。



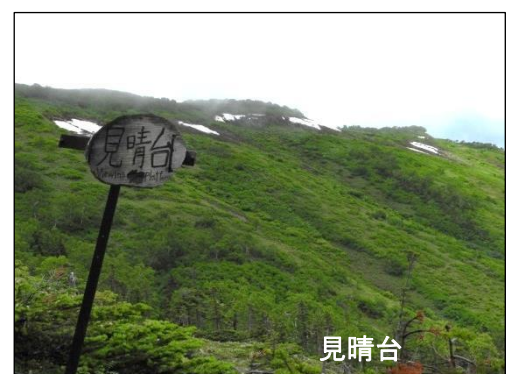
ふと右手前方を見ると何やら黄色い派手な花の塊がある。近寄って見るとキバナシオガマではないか！以前小泉岳あたりで見たことがあるが、それ以来久しぶりで会うことができた。雨の中無理して登ってきた甲斐があった。今日最大の収穫だ。



駒草平を少し過ぎたところで、雨が小やみになったので、腰を下ろして休憩し、さあ山頂へ向かおうとしたが、また本降りとなってきた。山頂まで行けばチシマクモマグサやミネズオウなどが咲いているかもしれないが、みんな一昨日の旭岳で見ているので、今回は無理せずここで引き返すことにした。

下りもかなり雨に降られたが花を探しながらのんびり下った。もう昼が近いというのに、登ってくる登山者、数パーティーとすれ違った。中には10人近い子供たちを引き連れたパーティーもあった。雨の中大変だな、赤岳まで行くのかな、などと心配しながら見送った。

下るにしたがって雨のだんだん弱くなり、見晴台ではほとんど上がって明るくなり、登山口へ着いたときはもうすっかりやんでいた。



広い砂利道を歩いて銀泉台に着いたのはちょうど12時だった。雨はすっかり上がって雲の切れ間も見え始めた。天候は回復傾向かな？ 赤岳のほうを眺めるとまだ黒い雲の中に隠れているので、山ではまだ雨が降っているようだ。管理棟前の洗い場で泥だらけのズボンと靴を洗い駐車場へ。駐車場には私の車と隣に札幌ナンバーの車、そして離れたところに1台の全部で3台しかなく、あとマイクロバスが2台止まっているだけだ。日曜日だというのになんと寂しいことだろうか。

天気は時々日が差すほどに回復したので、水で洗ったゴアテックスと靴を乾かしながらゆっくりと昼食をとった。隣の札幌ナンバーの車の方（男性1、女性2）も下りてきて近くのベンチで昼食をとっていた。そのうち10人ほどの団体がぞろぞろ下りてきてマイクロバスに乗りこんだ。

13時過ぎに銀泉台をあとにした。長い林道を走って国道273号線に出、出たところにある道路管理施設の駐車場に寄って、バケツで水を汲んで砂利道走行で砂埃まみれになった車を洗車した。赤岳の帰りはいつもここで洗車する。ここはトイレも完備していて、昔車中泊したことがある。

14時過ぎに今夜の宿、層雲峡ユースホステルに到着した。ここは毎年利用させていただいている宿だが、数年前に休館となり利用できなくなった。オーナーが代わって昨年再開したらしく、外観も内部も昔そのまま何も変わっていない。

久しぶりで泊めていただき、懐かしくうれしい。チェックインが15時からなので、チェックインまで、今日雨で濡れた衣類や、山の装備などの整理をして待った。



チェックインを済ませてすぐ、いつものように、隣のホテル朝陽館の風呂へ駆け込んだ。7階の展望大浴場へ入るのが何よりの楽しみだが、なんと！今日は女性の日で、男性は2階の浴場だという。いつも7階の奥が見えないほど広い大浴場に入っていたのがっかりだが仕方がない、はじめて2階の展望が全くない内湯に入った。客は誰もいない、私一人で貸切状態、思いっきり自由に入浴して、今日の雨の赤岳の疲れを十分癒すことが出来た。

今日のYHの泊り客は30人くらいか？ 18時半からの夕食には食堂は満席状態。外人も数人いる。献立は「特製カレー」。量も結構あったが、今日の山で腹が減っていたし、味も旨かったので完食した。ビール大缶2本空けた。いつもなら食事中、山の話などの会話で盛り上がるのだが、コロナ感染の注意もあるのか、今夜はみんな会話も無く静かに終わった。

こうして今日は赤岳の疲れもあり、風呂と食事とビール それに車中泊ではなくYHのベッドの中で、良い気分になって眠りについた。

なんと 外は天気がよく、青空だ。

やはり赤岳は花が豊富な山だった。 雨の中とは云え 今日出会った花は 45 種類を超えた。

(出てきた順に)

ウコンウツギ、ヤマガラシ、ランの仲間、ミツバオウレン、フキ、ウメバチソウ、ヨツバシオガマ、イソツツジ、マルバシモツケ、リンネソウ、ゴゼンタチバナ、エゾツツジ、ホソバノイワベンケイ、マイズルソウ、コガネイチゴ、モミジカラマツ、エゾコザクラ、チシマヒョウタンボク、ナナカマド、ミヤマキンポウゲ、チングルマ、アオノツガザクラ、ハクサンボウフウ、キバナシャクナゲ、ジムカデ、ミヤマエゾクロウスゴ、コマクサ、イワヒゲ、チシマキンレイカ、イワブクロ、キバナシオガマ、ジンヨウキスミレ、ミネヤナギ、シラネニンジン、ユキバトウヒレン、コケモモ、メアカンキンバイ、エゾヒメクワガタ、ショウジョウバカマ、キバナノコマノツメ、エゾイチゲ、エゾレイジンソウ、ツマトリソウ、ハイオトギリ他数種